2018年11月 例会報告

日時　2018年11月10日（土）午後2時～5時

場所　早稲田奉仕園 リバティホール

2018 年 11 月 10 日（土）午後 2 時から早稲田奉仕園リバティホールにおいて、日本詩人クラブ 11 月の例会が開催されました。司会は草薙定、宮本苑生の両氏。

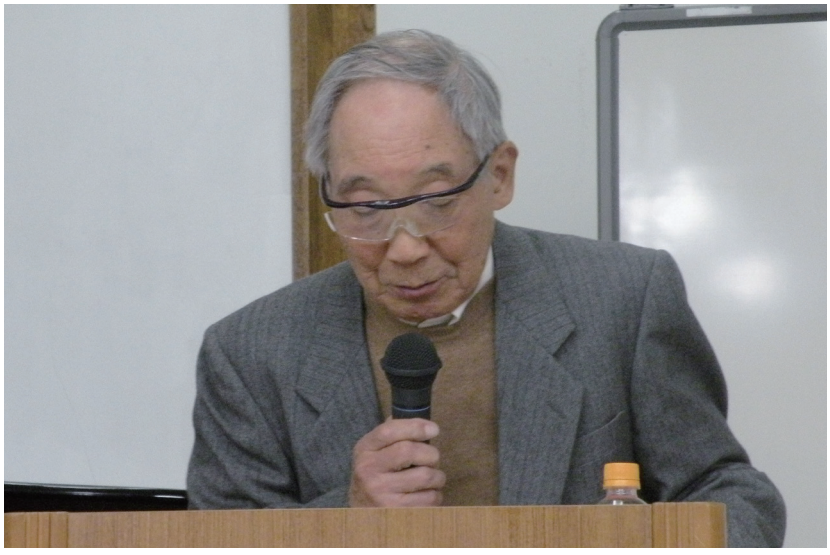
川中子会長の挨拶に続き、会員による詩朗読とスピーチが行われました。朗読者は竹村啓氏（世田谷区）、酒木裕次郎氏（取手市）、上原和恵氏（佐賀市）の 3 名でした。

講演は作曲家の中村節也氏による「賢治の歌とリズムについて」で、日本の音楽の特徴から宮沢賢治が作詞・作曲した楽曲についてお話しいただきました。お話の後、中村氏が編曲された賢治の歌を市毛あかね氏（声楽）、根本礼氏（フルート）、奥愛美氏（ピアノ）、西川真惟子氏（フルート）演奏によるミニコンサートが催され、アンコール演奏もしていただきました。

休憩を挟んで第 2 回「新しい詩の声」授賞式が執り行われました。天野英担当理事の挨拶の後、佐相憲一理事による選考経過報告が行われました。続いて当日出席された三好郁子氏と山田裕樹氏に表彰状と賞金が授与され、受賞の言葉と受賞詩の朗読をしていただきました。欠席された岡本直美氏の詩の代読は谷口典子理事、福本恵子氏の詩の代読は塩野とみ子理事が行い、授賞式が終了。

長尾理事長のお話を持って 11 月例会は終了し、近隣のサイゼリヤにて懇親会が行われました。

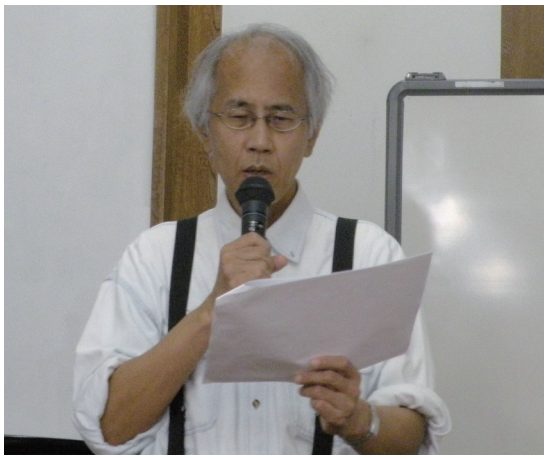
「第 2 回 新しい詩の声」受賞者及び作品名
最優秀賞　岡本直美「ひとつ」
優秀賞　　福本恵子「おにのかぞえかた」　　三好郁子「熊」　　山田裕樹「ふるさと」



中村節也氏の講演

宮沢賢治の歌のミニコンサート

会員による詩朗読とスピーチ



竹村啓氏

酒木裕次郎氏

上原和恵氏

第２回「新しい詩の声」授賞式

三好郁子氏

山田裕樹氏

2018年11月「現代詩セミナー」報告

日時　2018年11月23日（金）(祝）午後2時～4時30分

場所　永福町　ル・リエール

11 月 23 日「現代詩セミナー」は（私の好きな詩）ということで、4 名のお方に「私の詩の好きな詩」を提示していただき、その作品への思いや、良いと思われる点、作者に関かわる話を聞いて、参加者各位それぞれが、感じたことを率直に語り合った。

提供された作品とそこで語られた提供者の話の概略を下記に記す。(作品提供者の敬称は割愛します。)

◇　蔵原伸二郎「乾いた道」 提供者・塩野とみ子　ー「乾いた道」は若い時期に読んだ蔵原伸二郎の作品で教材にも乗っていた。15 行の短い詩だが、やさしい言葉の裏にある作者の思いが感じられて感動し、ノートにびっしり感想のようなものを書いたのが今でも残っている。

◇　宮沢賢治「目にて云ふ」 提供者・庄司進　ー「目にて云ふ」病床での作であるが、

詩には青という文字が散見され、これは詩集『春と修羅』の冒頭の作とも通じる賢治の感覚なのだと思う。病床での作で、苦しみ悶える状況の中で、「あなたの方から見ればずゐぶんさんたんたるけしきでしょう」などと語る他人事のような口調には驚く。この詩は草野心平が心にとめられ絶賛した。

◇　長田弘「言葉のだしのとりかた」ーこの詩は詩集『食卓一期一会』にある詩の一つだが」詩集はどの詩も自由で、機知にとんだやさしい言葉で書かれていて読み飽きない。この詩は（だしのとりかた）という調理言葉で詩のことを書いていて、軽い言葉で詩の書き方の本質のことが言われている。かつおぶしではなく言葉でだしをとるという、まさに調理をするように書かれているところがいい。

◇　福間健二「野原に落ちて行く」（蛇口から水がでている。）という言葉から始まり、人の手が米をといでいる。）という言葉に移り、人なるものが誰であるのか、作者であるのか不明のままに、人は様々な行為を行い、その行為について心も動き、様々思う。後半に入って、（夕闇がせまってきて）ということばで黄昏時を示すと共に、人の黄昏時をも暗示する。結末は（いちばん目立たないものになって　この世の　この野原にぬくもりとつめたさのあいだに落ちてゆく。）と、閉じられる。

当日の司会進行は下川敬明理事が務められ、参加者各位の感触を聞きながら、作品や詩人に関する印象や意見が出され、4辺の作品を通してほぼ2時間、提供された作品ばかりではなく、詩とは何かという本質に迫る意見のやり取りにもなった。長田弘の「言葉の出しのとりかた」は詩の書き方を指南するという内実の詩であるが、「意味をゆっくり沈めて、浮き上がらないように掬い取る。」とか「言葉のあくが浮いてきたら、掬ってすくって掬って捨てる。」の、あくのようなものも大切なんだと思う。との意見が出て、詩表現の本質の課題にふれることにもなった。また詩のイメージに関する参加者の関心も寄せられた。総じて、参加者各位にあっては良い学びの会であったのではないか。司会の下川理事を始め参加者の熱意に感謝です。

参加者（順不同・敬称略）

酒木裕次郎、坂木昌子、三宅鞠詠、田村勝久、竹村　啓、駒井喜久子、さとうのりお、高島りみこ、渡辺　邦、　塩野とみ子、庄司　進、宮本苑生、渡辺めぐみ、下川敬明、長尾雅樹、天野　英、佐相憲一、曽我貢誠、谷口典子

文責：天野　英